

私たちの人生が神様が願われる信仰を持つときに素晴らしい人生となる。今回のヘブル書 11 章には信仰によって勝利をした人々が記録されている。そこから、ヘブル 11 章の人々を模範としながら歩む人生を送っていきたい。特にモーセの人生を見ながら神様が願われる信仰と人生と何であるのかを見ていく。

1. 福音中心の信仰	2. 教会中心の信仰	3. 伝道、宣教の為の人生
▲モーセは福音中心の信仰を持っている者であった 1)創世記 3 章の問題 (1)なぜキリストが必要であるのか—創世記 3 章の問題 ①罪—呪い、災い、②サタン—運命、③地獄 (2)西日本豪雨、台風 21 号、北海道地震の災いが起こる 2)キリストの救い—創 3:15(彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく) —モーセは福音を分かっていた(創世記の記録者—モーセ) (1)祭司—罪、呪い・災いを解決、(2)王—サタンを打ち砕く (3)預言者—神に出会える道、命を与える 3)キリストの必要性 (1)モーセの出生—ヘブ 11:23(信仰によって、モーセは生まれてから、両親によって三か月の間隠されていました) ・モーセはナイル川に流され王女に流れ着き王子として王宮で育てられる (2)モーセの価値 ①ヘブ 11:24-25(信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました)—神様の民たちの苦しみに胸を痛めた。 ②キリストの価値性—ヘブ 11:26(彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです) ・キリストの価値性をエジプトの宝にまさるものと信じた (3)ミデヤン荒野の生活—キリストを味わう時間であった ①ミデヤンの荒野で創世記を記録—福音・御言葉を味わう ②私たちの問題の中でキリストを味わう—問題は祝福 4)血の契約中心 (1)出 3:18(私たちの神、主にいけにえをささげさせてください)と言え) (2)ヘブル 11:28(信仰によって、初子を滅ぼす者が彼らに触れることのないように、彼は過越と血の注ぎとを行ないました) (1)生け贄—血の生け贄(福音)の信仰中心 (2)血の契約によってエジプトの奴隷から解放された (3)キリストによってこそ、罪、悪魔の奴隷から解放。	▲神様はモーセに契約の箱と幕屋を造りなさいと言われた。モーセは幕屋中心、教会中心の信仰であった。 1)幕屋—出 26:1(幕屋を 10 枚の幕で造らなければならない) (1)主が幕屋でイスラエルの民の中に住むためにたてた。 (2)幕屋で礼拝がささげられた。 2)教会中心の信仰 (1)礼拝成功—詩編 119:114-116(あなたは私の隠れ場、私の盾。私は、あなたのみことばを待ち望みます。悪を行う者どもよ、私から離れて行け。私は、わが神の仰せを守る。みことばのとおり私をささえ、私を生かしてください。私の望みのことで私をはずかしめないようにしてください) ①礼拝の時に御言葉を私たちは待ち望む心を持つ ②礼拝の御言葉が私の霊、精神、肉体を生かす。 ③御言葉に従う者ははずかしめをうけない。 (2)共に祈る—教会で共に祈る時に主が強く働かれます ・3 つの祈り題(伝道集会,集中神学院,認定こども園,宣教) 3)教会が強くなる—聖霊の力 (1)聖霊の力—エゼ 36:26-27(あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。わたしの霊をあなたがたに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる) ①聖霊の力—神様の御心に従えない石のように固い心から、肉のようにやわらかい信仰となり御言葉に従って歩ませる。 (2)災いからの回復—エゼ 36:33(わたしを町々を人が住めるようにし、廃墟を建て直す)—災いの地域が回復をされる。 (3)教会の復興—エゼ 36 章 37-38 節(わたしは、羊の群れのように人をふやそう) ①教会の復興—教会が強くなる時に日本の災いが終わる。 ②教会が生かされる中に私の祝福もある。 4)教会を支えた者 (1)イテロ長老—出 18:21(千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長として、民の上に立てなければなりません) ①モーセの負担を減らすために各長を立てるようにイテロがモーセに勧めた—モーセを支えた ②聖徒が主任牧師を支え、教会を支える事の中に祝福がある	▲モーセは最後まで伝道,宣教の中心の人生 1)カナンの地を目指す—出 3:8(わたしが下って来たのは、彼らをエジプトの手から救い出し、その地から、広い良い地、乳と蜜の流れる地、カナン人、ヘテ人、エモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人のいる所に、彼らを上らせるためだ) ①カナンを目指す—キリストが生まれる地 ②私達のビジョンは日本福音化,世界福音化 2)ラハブ—ヘブ 11:31(信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な人たちといっしょに滅びることを免れました) (1)ラハブはカナンの地の征服に協力する—本人,家族を生かしキリストの系図にのる (2)伝道,宣教で私,家族,現場が生かされる祝福 3)モーセの最期 (1)山の頂からカナンの地を見渡し亡くなる—最後までカナンの征服を夢見た (2)私達は伝道と宣教に最後まで中心を持つ (3)モデル的人物—申 34:10(モーセのような預言者は再びイスラエルには起こらなかった。彼を主は、顔と顔を合わせて選び出された) ・神様が願われるモデル的な人物であった (4)健康を守る—申命記 34:7(モーセが死んだときには 120 歳であったが、彼の目はかすまず、気力も衰えていなかった) 4)次世代を生かす—申 34:9(ヌンの子ヨシュアは、知恵の霊に満たされていた。モーセが彼の上に、かつて、その手を置いたからである) (1)次世代としてヨシュアとカレブを立てた (2)次世代を通してカナンの征服をした (3)レムナントを生かす—世界福音化成就—認定こども園、レムナント、青年 ▲結論—福音中心,教会中心,伝道と宣教中心 ・3 つの祈りの課題の成就の為に

区域地教会(2018 年 9 月 9 日～9 月 16 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「神様が願われる信仰と人生」(ヘブル 11:23-31)

【讚美】 397 ひかりの高地に

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・「決断」「正しい癒し」「サミットの祝福」(本部元旦メッセージ)の成就のために。
- ・「日本と世界を生かす教会」(使徒 11:19-30)(福音宣教教会元旦メッセージ)の成就のために。
- ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
- ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。

②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。

③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 10の祈り題	(1)日本1%福音化(使18:9-10・ローマ16:20) (2)第2の宗教改革(マタ16:16、Iペテ2:9) (3)日本8,000教会(使17:1-3) (4)200地教会(創41:36-38) (5)1,000大学(福音の人材、福音エリート/使19:9-10) (6)伝道(重職者)運動(3弟子/ローマ16章) (7)レムナント運動(イザ6:13 / 3サミット) (8)癒しの運動(使徒19:8-20) (9)日本神学校、東日本神学校と教役者ーⅡ列6:8-23 (10)世界宣教(マタ24:14、使1:8)	
	伝道対象者	
お知らせ	1. 10月2-3 名古屋伝道集会 2. 認定こども園の新設のためにお祈りをお願いします。 3. 主任牧師宣教チーム13日までブラジル サンパウロ宣教、15日帰国 4. 9/12(水)14:00 使役者メッセージ及び19:30 水曜礼拝は李ジャンヒ牧師をお迎えして特別メッセージとなります。 5. 9/22(土)-24(月)本部集中伝道神学院(名古屋)特に青年たちが参加するようにお願いします。 <u>*特に1-3のために全聖徒が共に心を合わせて 早天礼拝と夜の9時にお祈りをお願いします。</u>	
	福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00	